

 東北の元気、日本の元気を青森から

# 令和元年度復興施策シート

八戸市復興計画推進市民委員会

## 4. 防災力の強化

八 戸 市

令和元年 7 月 5 日

## ○復興施策シート目次

### 4. 防災力の強化

- (1) 防災体制の強化…………… 1
- (2) 水・エネルギー対策の充実…………… 15
- (3) 災害に強い地域づくり…………… 21

## ○施策シートの見方

#### ・ 目指す姿：

復興計画の「第2 施策の基本方向」に基づき、当該項目について、特定の時点を定めず、将来的に「このようになっていたらよい」という姿を掲載しています。

#### ・ 市民アンケートにおける現状評価：

平成31年2月に実施した「市民アンケート」における各施策についての現状評価を点数化し、掲載しています（「十分満たされている」を4点、「まあまあ満たされている」を3点、「あまり満たされていない」を2点、「ほとんど満たされていない」を1点とし、当該回答者数（「判断できない」を除く。）で割った平均値で、4点満点。）。

平成31年市民アンケート調査報告書を参照してください。

#### ・ 施策の工程：

復興計画における当該施策の内容毎の工程表を掲載しています。

#### ・ 参考指標の動向：

当該施策の動向を把握する上で参考となる指標を掲載しています。

※この指標をもって当該施策の達成度を測るものではありません。

#### ・ 施策を構成する主要事業：

当該施策を構成している、創造的復興プロジェクト等の主要な事業です。

【実施状況】は平成30年度(又は30年度まで)の実施状況、【今後の予定】は令和元年度以降の実施状況及び予定を記載しています。事業名に◆がついている事業は、創造的復興プロジェクト事業です。また、★印がついている事業は、八戸市総合計画の戦略プロジェクトにも位置づけられている事業です。さらに、事業名の隣に次の事業区分を記載しています。

完了…平成30年度に完了した事業

追加…策定時の復興計画に未登録で、今回追加した事業

#### ・ 事業費：

市が事業主体の事業について、平成30年度の決算（見込）額、令和元年度の予算額を記載しています。なお、決算（見込）額及び予算額には、繰越事業費分を含み、事業費には、人件費（事業費支弁以外）を含みません。

#### ・ 施策を取り巻く課題や論点：

意見を頂くための行政側からとらえた課題や論点です。意見を述べるにあたっての参考としてください。

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化																																																																																	
施策名	4 - ( 1 ) 防災体制の強化																																																																																	
施策の概要	計画・体制	<p><b>目指す姿</b> 大震災の経験・教訓を生かし、市の地域防災計画の検証・見直しが進むなど、総合的かつ計画的な防災体制の強化が図られている。</p> <p><b>市民アンケートにおける現状評価</b> 【設問】避難道路や避難所の整備、避難所への物資の備蓄などにより、防災・減災対策の強化が図られている。 【点数】 H29 : 2.7 H30 : 2.8 H31 : 2.7</p>																																																																																
	訓練・教育	<p><b>目指す姿</b> 平常時の防災訓練や防災教育、災害時における広報体制の強化や避難所等の整備により、災害に対する備えと災害応急体制が充実している。</p> <p><b>市民アンケートにおける現状評価</b> 【設問】小中学校での防災教育や地域での防災訓練などにより、市民の防災意識が高まり、地域における災害の備えが整っている。 【点数】 H29 : 2.7 H30 : 2.8 H31 : 2.8 【設問】防災行政無線やほっとスルメール、コミュニティFM等により、災害時における広報体制が充実している。 【点数】 H29 : 2.8 H30 : 2.9 H31 : 2.9</p>																																																																																
施策の工程																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr style="background-color: #fff9c4;"> <th colspan="3">復旧期</th> <th colspan="3">再生期</th> <th colspan="4">創造期</th> </tr> <tr> <th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th> </tr> <tr> <td colspan="3">①防災計画の検証・改訂</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">②津波等を想定した防災訓練の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="10">③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="3">④広報体制の強化</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発</td> </tr> <tr> <td colspan="10">⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開</td> </tr> </table>			復旧期			再生期			創造期				H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	①防災計画の検証・改訂										②津波等を想定した防災訓練の充実										③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実										④広報体制の強化										⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発										⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開									
復旧期			再生期			創造期																																																																												
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																																									
①防災計画の検証・改訂																																																																																		
②津波等を想定した防災訓練の充実																																																																																		
③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実																																																																																		
④広報体制の強化																																																																																		
⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発																																																																																		
⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開																																																																																		
参考指標の動向																																																																																		
○災害協定の締結数																																																																																		
区分	震災前	震災後失効	震災後締結	現在 (R1.5.31時点)																																																																														
締結協定数	31協定	▲6協定	36協定	61協定																																																																														
平成30年度以降締結の7協定																																																																																		
① 災害発生時の施設の使用に関する協定	(八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校)																																																																																	
② 災害時における物資供給に関する協定	(ミドリ安全青森株式会社)																																																																																	
③ 災害時無線アクセス回線の利用に関する協定	(株式会社八戸テレビ放送)																																																																																	
④ 災害時における青森県市町村相互応援に関する協定	(青森県及び県内全市町村)																																																																																	
⑤ 災害時における復旧支援協力に関する協定	(公益社団法人 日本下水道管路管理業協会)																																																																																	
⑥ 災害時の医療救護に関する協定	(一般社団法人 八戸市医師会)																																																																																	
⑦ 隊員家族あしん協定	(陸上自衛隊)																																																																																	

凡例

事業 No.	復興計画の事業名	事業区分 (完了・追加)	<事業主体>	事業費	H30 決算	千円
					R01 予算	千円
【事業概要】		【実施状況】		【今後の予定】		
		H30 年度(又は H30 年度まで)の状況		R1 年度以降の状況・予定		

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

①防災計画の検証・改訂

No.01	八戸市地域防災計画の検証・改訂	<事業主体> 市	事業費	H30 決算	657 千円
				R01 予算	547 千円
【事業概要】 東日本大震災をふまえた八戸市地域防災計画の検証と見直し		【実施状況】 S40.3 地域防災計画策定 →以降 13 回の計画改定 H30 年度 地域防災計画の修正 (H30.4) ・機構改革に伴う所要の修正 地域防災計画【資料編】の修正 (H31.3) ・国の防災基本計画の修正や関係法令の改正等に伴う所要の修正 ・馬淵川、浅水川、新井田川の浸水想定区域の見直しに伴う所要の修正		【今後の予定】 R1 年度 地域防災計画の修正 ・機構改革に伴う所要の修正 ・県の地域防災計画の修正や関係法令の改正等に伴い、必要に応じ修正	
No.02	◆津波避難計画の検証・改訂	<事業主体> 市	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】 東日本大震災をふまえた八戸市津波避難計画の検証と見直し		【実施状況】 平成 17 年 3 月に策定した「八戸市津波避難計画」について、青森県が平成 24 年 10 月に公表した「L2 津波浸水予測図」及び平成 25 年 3 月に作成した「L1 津波浸水予測図」を基に改訂 H27.2~3 八戸市津波避難計画の改訂、印刷・配布 H27.4~ 市民課窓口での津波避難計画図の配布（転入者へ） H30 年度 ○津波避難計画（津波避難計画図）の周知 ○津波災害警戒区域の指定確認 ・日本海溝千島海溝地震の新たな想定結果に基づき、県が津波災害警戒区域を指定予定で、その動向を確認		【今後の予定】 ○津波避難計画（津波避難計画図）の周知 ○津波災害警戒区域の指定に伴う対応 ・日本海溝千島海溝沿いの巨大地震モデルの想定結果公表に基づき、県が津波災害警戒区域を指定した後、津波避難計画への改訂を検討	

No.03	◆事業所等における業務継続計画の策定・充実	<事業主体> 県・市・民	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】 市役所業務継続計画（地震編）の策定及び、民間事業者が災害時に重要業務を継続するための事業継続実施計画の策定及び充実	【実施状況】 ◎市役所業務 H27 年度末に業務継続計画（地震編）を策定適宜、計画の見直し等の検討 ・各課職員に対する計画周知 ・業務整理表の更新依頼 ・訓練に関する計画の検討  ◎民間事業者 事業所等の BCP 策定に向けた普及・啓発等を実施 ・市 HP で中小企業庁作成の「中小企業 BCP 策定運用指針」等を紹介 ・東京海上日動火災保険と「地域産業支援に関する連携協定」を締結（H30.10） 連携事項：企業の防災、災害対策に関する事項（企業の BCP 策定支援）など ・協定に基づき、事業者向け BCP ワークショップを開催（H31.2.21）	【今後の予定】 ◎市役所業務 ・計画等の適宜見直し  ◎民間事業者 ・事業所等の BCP 策定に向けた普及・啓発等 ・事業者向け BCP ワークショップの開催			
No.04	安全・安心まちづくり推進協議会の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H30 決算	193 千円
				R01 予算	195 千円
【事業概要】 災害に強いまちづくりに対応した協議会の機能充実	【実施状況】 市民、連合町内会、地域ボランティア団体、事業者、市、教育委員会、警察、消防、その他関係機関・団体が一堂に会し、安全で安心な「まちづくり」についての意見交換や情報交換を行う。 H31.2.15 八戸市安全・安心まちづくり推進協議会開催（出席：182名）	【今後の予定】 事業継続実施			
No.05	◆津波ハザードマップの改訂	<事業主体> 市	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】 新たな津波シミュレーションに基づく、八戸市地震津波防災マップの改訂	【実施状況】 H25.3 八戸市地震津波防災マップ改訂 ・八戸市防災マップ <配布先>防災関係機関等 955 件(1,025 部配布) ・津波避難ハンドブック <配布先>全戸及び全事業所 107,464 件  H30 年度 ○八戸市公開地理情報システム(市 HP)のデータ修正 ・防災情報（避難所等）の年次更新を実施し、新規指定済の避難所等を反映 ○防災マップの改訂に向けた検討 ○防災タウンページ（無償版）の発行 ・市内全戸全事業所に配布	【今後の予定】 ・防災タウンページの発行 市内全戸及び全事業所に配布予定 ・八戸市公開地理情報システム（市 HP）防災情報の年次更新 ・防災マップの改訂 国・県のスケジュール確定後実施			

②津波等を想定した防災訓練の充実

No.06	◆★総合防災訓練・地区防災訓練の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H30 決算 3,124 千円 R01 予算 4,815 千円
<p><b>【事業概要】</b> 総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p>	<p><b>【実施状況】</b> 防災関係機関や地域住民と連携し、地震・津波・洪水などの大規模災害に備えた防災訓練を実施</p> <p>◎八戸市総合防災訓練 &lt;実施日&gt; H30. 8. 31 &lt;場所&gt; 沼館・城下地区及び三八城地区 &lt;参加人数&gt; 近隣住民等約 1,800 人 &lt;訓練内容&gt; 津波避難訓練、避難所運営訓練等</p> <p>◎みちのく ALERT2018 &lt;実施日&gt; H30. 11. 9～11 &lt;場所&gt; 八戸市庁、白銀地区 &lt;参加人数&gt; 関係機関等 244 人 &lt;訓練内容&gt; 救助救出訓練、避難訓練等</p> <p>◎地区防災訓練 各地区の町内会や自主防災組織が主催 H30 年度 ・防災訓練：町内会 12 件、自主防災会 51 件 ・防災研修会：町内会 10 件、自主防災会 14 件</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ◎八戸市総合防災訓練 &lt;実施日&gt; R1. 9. 1 &lt;場所&gt; 南郷地区 &lt;訓練内容&gt; 洪水・土砂災害・地震対応訓練</p> <p>◎地区防災訓練 町内会や自主防災組織が主催する地区防災訓練への助言、支援を行い、防災関係機関や地域住民と連携し、大規模災害に備えた訓練を実施</p>		
No.07	◆★災害図上訓練の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H30 決算 322 千円 R01 予算 92 千円
<p><b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた災害図上防災訓練の充実</p>	<p><b>【実施状況】</b> 市職員の「八戸市地域防災計画」及び多様な災害に応じた「初動体制マニュアル」の習熟並びに同マニュアルの整備、防災意識の高揚を目的として、図上訓練を実施するとともに、個別防災訓練（通信訓練等）と組み合わせた実践的な訓練を実施。</p> <p>◎第 1 回図上訓練及び実動訓練（H30. 11. 9～11） 図上訓練参加者 212 名、実動訓練参加者 244 名 ・災害対策本部運営訓練（地震・津波等）、災害対策本部員会議及び災害時の情報伝達訓練 ・災害対策本部設置・運営マニュアルの慣熟訓練 ・通信訓練及び陸上自衛隊が実施する「みちのく ALERT2018」の実動訓練の場を活用した救助・物資輸送訓練等の実動訓練</p> <p>◎第 2 回図上訓練（H31. 1. 30）参加者 54 名 ・避難所運営訓練</p> <p>◎陸上自衛隊が実施する「みちのく ALERT2018」に参加（H30. 11. 9～11）参加者延べ 456 名</p>	<p><b>【今後の予定】</b> ◎第 1 回図上訓練(R1. 11. 1 予定) ・災害対策本部運営訓練（風水害・河川の増水対応等） ・直近の災害に対する DIG 方式の訓練</p> <p>◎第 2 回図上訓練(R2. 1 未予定) ・避難所運営訓練</p> <p>◎県が実施する図上訓練に参加予定</p> <p>◎陸上自衛隊が実施する「みちのく ALERT2019」に参加予定</p>		

No.08	◆★事業所における防災訓練の充実	＜事業主体＞ 民	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
<b>【事業概要】</b> 民間事業所における防災訓練の充実	<b>【実施状況】</b> ◎事業所等において防災研修会を実施 ◎事業所防災計画の作成指導 ◎事業所防災訓練実施の指導  <消火・避難訓練実施状況（H30 年度）> ・消防計画に基づく訓練の実施が必要な防火対象物数：2,300 （特定防火対象物 1,611、非特定防火対象物 689） ※特定防火対象物 収容人員 30 人以上、非特定防火対象物 収容人員 50 人以上のもの ・訓練実施対象物数（実施率） 消火訓練：948（58.8%） 避難訓練：973（60.4%） ※特定防火対象物のうち、消火・避難訓練を実施した対象物数・実施率	<b>【今後の予定】</b> 事業継続実施			

③避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実

No.09	◆市避難所運営体制の再検討	＜事業主体＞ 市・関係機関	事業費	H30 決算	794 千円
				R01 予算	1,000 千円
<b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた八戸市避難所運営マニュアルの再検討、関係機関や地域団体との連携による避難所運営体制の検討及び情報通信技術を活用した、避難所運営における情報伝達・共有方法の検討	<b>【実施状況】</b> ○避難所運営マニュアルの改訂を検討 ○指定避難所へ配備したガソリン発電機の点検・修繕 →点検 53 台、修繕 5 台 ○指定避難所へ配備した物品の維持管理 ○特設公衆電話用電話機の配備 →市内小中学校 67 箇所 ○災害時用 Wi-Fi ルータの配備 →中心街周辺 5 箇所の避難所	<b>【今後の予定】</b> ○指定避難所へ配備したガソリン発電機の管理 ○地域の特性に合わせた避難所運営マニュアルの作成支援 ○指定避難所へ配備した物品の維持管理 ○特設公衆電話用電話機の配備 ○災害時用 Wi-Fi ルータの配備			
No.10	◆津波に対応した避難所・避難路の再検討	＜事業主体＞ 市	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
<b>【事業概要】</b> 東日本大震災の津波被害をふまえた避難地・避難所・避難路の再検討	<b>【実施状況】</b> ①指定避難所の新規指定 八戸聖ウルスラ学院（H30. 5. 28 災害協定締結） ②私立大学・高校を指定避難所として指定するための協議（耐震状況確認） ・八戸工業大学 → 体育館を耐震改修中（R1 年度末まで） ・八戸工大一高 → R2 年度に体育館建替予定 ③災害対策基本法に基づく指定緊急避難場所の指定について検討	<b>【今後の予定】</b> ○指定避難所の新規指定 みなと体験学習館 ○私立大学・高校を指定避難所として指定するための協議の継続 ○災害対策基本法に基づく指定緊急避難場所の指定			

No.11	◆津波避難ビルの指定・整備検討	<b>H28 完了</b>
-------	-----------------	---------------

No.12	◆小・中学校における防災体制の強化	＜事業主体＞ 市	事業費	H30 決算 R01 予算	0 千円 0 千円
<p><b>【事業概要】</b> 東日本大震災をふまえた各学校の危機管理マニュアルの検証・改善（避難場所・避難経路の複数設定等）</p>	<p><b>【実施状況】</b> H24.4 小中学校長に「児童生徒の安全指導及び学校の安全管理について」の通知  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直し</li> <li>・災害発生に備えた安全管理</li> </ul>  H24.7 停電時の非常放送用無停電電源装置（UPS）を設置                      ＜小学校＞ 22校 22台                      ＜中学校＞ 11校 11台   H30 年度                      ○「幼児・児童生徒の安全指導及び学校の安全管理について」の通知                      ○校長会・学校訪問等で指導・助言  <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波、洪水、土砂災害等を想定した防災計画等、避難確保計画の策定と避難訓練の実施</li> <li>・災害時の児童生徒の登下校の安全管理（保護者への引渡し手段の確認）</li> <li>・災害時の教職員体制と児童生徒への連絡等の確認</li> <li>・災害時の対応についての保護者への周知</li> <li>・防災ノートを活用した防災教育の推進</li> </ul>                     ○八戸市防災教育の日にかかわる取組についての調査</p>				<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの整備、見直しの実施</li> <li>・津波、洪水、土砂災害等を想定した防災計画等、避難確保計画の整備、見直しの実施と避難訓練の実施</li> </ul></p>
No.13	◆★備蓄品目及び備蓄数の検証・充実	＜事業主体＞ 市	事業費	H30 決算 R01 予算	4,000 千円 4,000 千円
<p><b>【事業概要】</b> 津波指定避難所へのLEDライト・ろうそく・毛布等の配備及び救済物資の備蓄品目・備蓄数及び調達に係る検証・充実</p>	<p><b>【実施状況】</b> ○八戸市備蓄計画の策定に向けた準備・調整  <ul style="list-style-type: none"> <li>・県災害備蓄指針（H30.3 策定）に基づき備蓄品目及び備蓄数を整理</li> <li>・計画策定体制及びスケジュールを検討</li> </ul>                     ○備蓄品の購入及び備蓄品、備蓄倉庫の管理  <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定避難所への備蓄品現況調査を実施（H31.2）</li> <li>・備蓄品の購入                              非常食 4,200食、飲料水 1,200本、毛布 1,200枚、その他、新たに乳児用ミルク乳児用おむつ、大人用おむつ及び携帯トイレを備蓄</li> </ul>  ※備蓄状況（H31.3.31 現在）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常食 18,552食</li> <li>・飲料水 15,552本</li> <li>・毛布 13,716枚 など</li> </ul> </p>				<p><b>【今後の予定】</b> ○八戸市備蓄計画の策定  <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が備蓄計画を策定予定であることから、県の動きを踏まえ、市備蓄計画を策定</li> </ul>                     ○備蓄品の購入及び備蓄品、備蓄倉庫の管理  <ul style="list-style-type: none"> <li>・長根屋内スケート場等に備蓄予定</li> </ul></p>



No.14	◆新学校給食センターの整備検討	<b>H25 完了</b>
-------	-----------------	---------------

No.15	◆★物資供給等災害時における支援協力協定の検証・改定	＜事業主体＞ 市	事業費	H30 決算 0 千円	R01 予算 0 千円
<p><b>【事業概要】</b> 市が災害時に備えて各種団体と締結している様々な災害協定の検証・改定</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎災害協定の締結状況 (H31. 3. 31 現在 : 61 協定) H22 年度まで 31 協定 H23 年度 6 協定 H24 年度 3 協定 H25 年度 3 協定 H26 年度 3 協定 H27 年度 6 協定 H28 年度 4 協定 H29 年度 4 協定 H30 年度 5 協定</p> <p>◎新たに締結した協定 (H30 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時における避難者の一時避難場所の確保に関する協定 (H30. 5. 28 : 八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校)</li> <li>・災害応急対策に必要な消耗品及び防災用品等の物資供給に関する協定 (H30. 8. 3 : ミドリ安全青森株式会社)</li> <li>・避難所への公衆無線 LAN の整備及び災害時の無償利用に関する協定 (H30. 8. 20 : 株式会社八戸テレビ放送)</li> <li>・災害時における青森県市町村相互応援に関する協定 (H30. 12. 6 : 青森県及び県内全市町村)</li> <li>・災害時における復旧支援協力に関する協定 (H31. 2. 8 : (公社) 日本下水道管路管理業協会)</li> </ul>				<p><b>【今後の予定】</b> 新規協定の締結に向けた関係機関との協議等の継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の医療救護に関する協定 (H31. 4. 1 : (一社) 八戸市医師会)</li> <li>・隊員家族あんしん協定 (H31. 4. 26 : 陸上自衛隊八戸駐屯地)</li> </ul>
No.16	★指定避難所の耐震化	＜事業主体＞ 市	事業費	H30 決算 451,133 千円	R01 予算 1,394,715 千円
<p><b>【事業概要】</b> 公民館等の耐震診断、耐震補強の実施</p>	<p><b>【実施状況】</b> ◎地区公民館 H25 年度に耐震診断を実施(地区公民館等 12 施設)した結果、耐震基準を満たしていないことが判明した 4 施設(是川、館、根城、江陽公民館)を建替え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館 公民館 H28. 9 開館</li> <li>・江陽公民館 H28. 9 開館</li> <li>・根城公民館 H29. 4 開館</li> <li>・是川公民館 H30. 4 開館</li> </ul> <p>◎八戸市公会堂・八戸市公民館 H26 年度に実施した耐震診断及び建築基準法の改正(天井の脱落防止対策の義務付け)を踏まえた耐震改修 H30 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託(耐震改修実施設計、地質調査等)</li> </ul>				<p><b>【今後の予定】</b> ◎八戸市公会堂・八戸市公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修工事着工(建築・電気・機械)</li> </ul>

No.17	小・中学校における避難所機能の整備	<b>H28 完了</b>
-------	-------------------	---------------

No.18	◆★総合保健センターの整備(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費 H30 決算 983,840 千円 R01 予算 4,878,723 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】	
田向地区に、災害時における医療・健康対策の拠点となる総合保健センターを整備	H29 年度 ・用地取得 ・建設工事 H30 年度 ・建設工事の継続	・建設工事（工期 R2. 2. 28 まで） ・外構工事 ・事務什器、医療機器の取得 ・供用開始に向けた移転作業	
No.19	◆福祉避難所の指定・整備	<事業主体> 市	事業費 H30 決算 46,908 千円 R01 予算 89,264 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】	
指定避難所では生活に支障を来す要配慮者（高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児等）が安心して避難生活を送れるよう、特別な配慮がなされた福祉避難所の指定・整備の推進	八戸市の福祉避難所の協定締結施設：72 施設 （連携中枢都市圏での相互利用可能施設：170 施設） （H31. 3. 31 現在） H23. 12. 22 市内及び近隣町の社会福祉事業者と福祉避難所の確保に関する協定締結 H24. 3 八戸市福祉避難所設置・運営マニュアル作成 H30 年度 ○福祉公民館 ・冷房設備設置工事（施工は R1 へ繰越） ・屋根漏水調査 ○総合福祉会館 ・3 階エレベーター前防火シャッター修繕 ・男子小便器センサー取替修繕 ・外壁赤外線調査業務委託 ・冷温水発生機（2 号機）取替工事 ○八戸市身体障害者更生館 ・渡り廊下の改修工事 ・照明設備工事設計 ○福祉体育館 ・トイレ改修工事（アスベスト含有調査含む） ○要配慮者移送チーム員研修会開催 ○社会福祉事業者等と福祉避難所確保に関する協定締結 ○八戸市総合防災訓練への参加（福祉避難所への移送訓練） ○福祉避難所運営に伴う備品等の整備 ・常時電源を必要とする避難者のためのコードリール ・福祉避難所の確保・運営ガイドライン（H28. 4 内閣府）に記載されている物資・器材の確保	○福祉公民館 ・給湯室及び多目的トイレ壁面修繕 ・渡り廊下屋根修繕 ・冷房設備設置工事 ○総合福祉会館 ・消防設備（避難器具）改修修繕 ・自動火災報知設備・非常用放送設備改修工事 ○八戸市身体障害者更生館 ・照明設備工事の再設計 ○要配慮者移送チーム員研修会開催 ○社会福祉事業者等と福祉避難所確保に関する協定締結 ○八戸市総合防災訓練への参加（福祉避難所への移送訓練） ○福祉避難所運営に伴う備品等の整備 （H29～R1 年度の 3 か年計画） ・常時電源を必要とする避難者のためのコードリール及びガス発電機 ・障がい者との連絡用のためのコミュニケーション絵本	

No.20	◆避難所・避難路サインの整備	H29 完了
-------	----------------	--------

No.21	★館鼻公園整備事業	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 376,016 千円 R01 予算 5,000 千円
<b>【事業概要】</b> 館鼻公園旧八戸測候所庁舎を活用し、防災機能を備えた体験学習施設を整備		<b>【実施状況】</b> ◎整備の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設名称：八戸市みなと体験学習館</li> <li>・階数：地上2階</li> <li>・延床面積：約840㎡</li> <li>・整備内容：防災学習展示、多目的室、湊地域の歴史・文化学習展示等</li> </ul> H30 年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎改修工事（2期）</li> <li>・展示業務（2期）</li> <li>・外構工事（2期）</li> <li>・案内標識整備工事</li> <li>・公衆無線 LAN 設置</li> </ul>		<b>【今後の予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内標識整備工事</li> <li>・体験学習館備品購入</li> <li>・来園者増加に向けた地域住民によるワークショップの開催</li> <li>・震災伝承施設への登録制度を活用したPR</li> </ul>

④広報体制の強化

No.22	防災行政無線仮復旧事業	H23 完了
-------	-------------	--------

No.23	津波避難誘導標識の復旧・整備	H26 完了
-------	----------------	--------

No.24	防災行政無線本復旧事業	H24 完了
-------	-------------	--------

No.25	◆★災害時における広報体制の 検証・強化	＜事業主体＞ 市	事業費	H30 決算	25,403 千円
				R01 予算	46,010 千円
<p><b>【事業概要】</b>                      防災無線・広報車・ホームページ・ほっとスルメール等、広報体制の検証・強化及び災害時の広報手段としてのコミュニティFM等との連携強化及び携帯電話へのエリアメール配信等、新たな媒体や情報通信技術を活用した広報体制の充実</p>	<p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ビーエフエム、八戸テレビとの「災害時における災害情報等の放送に関する協定」の継続</li> <li>○災害時における広報体制の充実・強化を図るための改善方策の検討</li> <li>○ほっとスルメール                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災訓練において、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練を実施</li> <li>・システム改修 (情報配信速度向上のためのシステム強化等)</li> </ul> </li> </ul> <p>＜登録件数＞ 39,266 件 (H31.3.31 現在)                      &lt;アプリダウンロード件数&gt; 16,264 件 (H31.3.31 現在)                      (内訳)                      一般登録 17,015 件、学校関係者 18,879 件、消防本部 469 件、消防団員 1,213 件、市職員 422 件、市民病院職員 1,201 件、やさしい日本語・英語 67 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災行政無線の適切な維持管理・運用                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が見られる防災行政無線拡声子局のバッテリー交換の実施を検討</li> </ul> </li> <li>○緊急告知ラジオの導入を検討</li> <li>○音声一斉配信サービスの導入を検討</li> </ul>	<p><b>【今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーエフエム、八戸テレビとの「災害時における災害情報等の放送に関する協定」の継続</li> <li>・災害時における広報体制の充実・強化を図るための改善方策の検討(連絡窓口等の確認)</li> <li>・ビーエフエムとの協定に基づく緊急電話放送訓練の実施</li> <li>・総合防災訓練において、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練を実施</li> <li>・ほっとスルメールシステム改修(サービス向上)</li> <li>・特に災害リスクの高い沿岸部や沿川に位置し、使用年数の長い防災行政無線のバッテリー交換を実施(143基中69基)</li> <li>・新たな災害情報伝達手段に関する調査・研究</li> </ul>			

No.26	◆防災行政無線の増設	<b>H26 完了</b>
-------	------------	---------------

No.27	◆障がい者等への情報伝達体制の検討(在住外国人等)	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 R01 予算	89 千円 90 千円
<p><b>【事業概要】</b> 視聴覚障がい者や在住外国人等に対する災害発生情報の伝達体制の検討</p>	<p><b>【実施状況】</b></p> <p>◎在住外国人等</p> <p>H24 年度 外国人のための防災ガイドブックを作成 (英語、中国語、韓国語、やさしい日本語) ・市内在住外国人世帯へ送付 ・窓口配付開始</p> <p>H24 年度 外国人用ほっとスルメール稼働</p> <p>H27 年度 外国語の避難所一覧を作成 ・市内在住外国人世帯へ送付 ・窓口配布開始</p> <p>H30 年度 外国人向けほっとスルメールの見直し ・QR コードや HP 上に入力フォームを作成 &lt;配信状況&gt; 2 件 (H30 年度) &lt;登録状況&gt; 56 名 (H31. 3. 31 現在)</p> <p>◎障がい者</p> <p>H23 年度 福祉避難所設置・運営マニュアル策定</p> <p>H24 年度 福祉避難所運営マニュアルに基づく抽出訓練</p> <p>H25 年度 要援護者マップシステムの稼働</p> <p>マップシステム稼働後の状況</p> <p>○視覚障がい者</p> <p>H25 年度 緊急警報放送受信機能を持った地上デジタル放送対応ラジオの購入補助及び補助の周知を開始</p> <p>H30 年度 地上デジタル放送対応ラジオの購入補助基準額の見直し</p> <p>○聴覚障がい者</p> <p>H25 年度 要援護者マップシステムと FAX 一斉送信システム (BizFAX) の連携を検討</p> <p>H26 年度 要援護者マップシステムから BizFAX へのデータ取込み手順をマニュアル化</p> <p>H27 年度 災害時要援護者以外の身体障害者手帳 (聴覚障害) 所持者を対象者に追加</p> <p>H29 年度 BizFAX への登録希望調査を実施 (3 年に 1 回) ⇒ 対象者 594 名中、48 世帯 50 名が希望</p> <p>H30 年度 BizFAX 2 回配信 &lt;BizFAX 登録状況&gt; 48 世帯 50 名 (H31. 3. 31 現在)</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 事業継続実施</p>			

⑤防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発

No.28	◆小・中学校における防災教育の推進	＜事業主体＞ 市・高等教育機関	事業費	H30 決算 3,236 千円 R01 予算 3,362 千円
【事業概要】 東日本大震災をふまえた防災教育や避難訓練の充実、地域密着型教育の推進を通じた防災教育への取組、研修等による教職員の防災能力向上及び高等教育機関による防災教育の支援	【実施状況】 (内容) 1 震災をふまえた防災教育・避難訓練の充実 →校長会、小中学校の生徒指導研修会等での指導・助言 ・津波、洪水、土砂災害等を想定した防災計画等、避難確保計画の策定と避難訓練の実施 ・児童生徒が津波に対する正しい知識や避難の重要性を改めて理解し、自らの命を守る力を高められる指導の工夫 2 防災教育支援事業による自らの命を自ら守ろうとする態度や能力の育成 3 研修・研究等による教職員の防災教育の推進 4 小中学生を対象とする八戸市独自の「防災ノート」の配布  ◎H30 年度実績 ・防災教室支援事業 12 回開催、2,803 名参加 ・H31. 3. 11 「八戸市防災教育の日」安全指導、体験活動、安全点検等実施 ・2 訂版「防災ノート」を小学校 1・4 年生、中学校 1 年生へ配布及び授業等で活用 ・防災ノートの活用についてのアンケート調査 (対象：児童生徒、保護者、学校)	【今後の予定】 事業継続実施  ・各学校における防災教室等の開催を支援する防災教室支援事業を実施  ・2 訂版「防災ノート」を小学校 1・4 年生、中学校 1 年生へ配布及び授業等で活用  ・防災ノートの活用についてのアンケート調査の実施		

No.29	子ども防災力アップ事業の実施	<b>H23 完了</b>
-------	----------------	---------------

No.30	◆地元高等教育機関による防災・復興に関する調査研究活動の促進	＜事業主体＞ 市・高等教育機関等	事業費	H30 決算 995 千円 R01 予算 1,000 千円
【事業概要】 八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校の 3 校と八戸市の連携による「八戸市都市研究検討会」での専門性の高い調査研究活動や提言等の実施及び八戸工業大学「インフラ・防災技術社会システム研究センター」等の調査研究活動の促進	【実施状況】 ◎八戸市都市研究検討会 H30 年度テーマ 「地方創生における高等教育機関の役割に関する調査研究」 ・H30. 10 第 17 回八戸市都市研究検討会 (中間報告) ・H31. 2 第 18 回八戸市都市研究検討会 (最終報告) ・プロジェクトチーム会議を 9 回開催 (H30. 5～)  ◎インフラ・防災技術社会システム研究センター ・3. 11 防災フォーラム 2019 (開催日 H31. 3. 11) 内 容 東日本大震災を受けての防災対策や、北海道胆振東部地震による災害の概要、震災からの今後の復興に向けた活動・研究についての講演等	【今後の予定】 ◎八戸市都市研究検討会 R1 年度テーマ「若者の地域定着と U・I・J ターン可能なまちづくりに関する研究—スポーツと多文化の視点から」 ・会議 (親会) を 2 回程度開催 ・プロジェクトチーム会議を 10 回程度開催  ◎インフラ・防災技術社会システム研究センター ・事業継続実施		

No.31	◆★住民等への防災意識の啓発	＜事業主体＞ 市・民	事業費	H30 決算 R01 予算	508 千円 745 千円
<p><b>【事業概要】</b> 津波による被害と防災に対する市民への啓発(防災対策研修会の実施等)</p>	<p><b>【実施状況】</b>                  ◎地域防災組織の訓練実施状況 (H30 年度)                  訓練実施団体 67 団体、訓練実施回数 63 回                  ◎自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会、研修会への講師派遣                  H24 年度:17 回 H25 年度:27 回 H26 年度:12 回                  H27 年度:17 回 H28 年度:14 回 H29 年度:34 回                  H30 年度:37 回                  ◎ピアドゥ防災広場 (台風接近により中止)                  ◎防災市民研修会                  ・H31. 1. 20 開催 (参加者 100 名)                  ・講師 天達武史 氏                  ・内容 「ここがポイント! 気象災害への備え」                  ◎「広報はちのへ」への防災に関する記事掲載                  H30 年度: 6 月、9 月、11 月、3 月号に掲載                  ◎自主防災組織リーダー研修会                  ・H31. 2. 22 開催 (受講者 100 名)                  ・内容 避難所運営訓練 HUG                  ◎防災土育成事業(防災士資格取得費用の一部助成)                  ・H28 年度で終了</p>	<p><b>【今後の予定】</b>                  事業継続実施                  ◎防災市民研修会の開催                  ◎「広報はちのへ」への防災に関する記事掲載                  R1 年度: 6 月、9 月、11 月号、3 月号に掲載                  ◎自主防災組織リーダー研修会の開催</p>			

No.32	まるごとまちごとハザードマップ事業の実施	<b>H23 完了</b>
-------	----------------------	---------------

⑥東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開

No.33	◆東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開	＜事業主体＞ 県・市・広域事務組合・民	事業費	H30 決算 R01 予算	1,675 千円 1,705 千円
<p><b>【事業概要】</b> 被災・復旧・復興に係る記録・資料の保存公開及び公共施設への波高表示、消防本部新庁舎内への防災展示コーナーの設置・活用</p>	<p><b>【実施状況】</b>                  ◎東日本大震災写真展                  H30. 11. 5～11. 12                  (津波防災の日(11. 5)に合わせて開催)                  H31. 3. 11～3. 18                  (東日本大震災(3. 11)に合わせて開催)                  ◎青森震災アーカイブ                  ・青森震災アーカイブ保守委託                  ・新たな震災関連資料の保存・公開                  ・登録件数: 93, 049 件 (H31. 3. 31 現在)</p>	<p><b>【今後の予定】</b>                  ◎東日本大震災写真展開催                  R1. 11 (津波防災の日)                  R2. 3 (東日本大震災)                  ◎青森震災アーカイブ                  ・青森震災アーカイブ保守委託                  ・今後の方向性について検討                  ・新たな震災関連資料の保存・公開</p>			

**3. 施策を取り巻く課題や論点**

- ◎関係機関・関係団体と連携した総合的な防災体制の早期構築
- ◎津波シミュレーション等を踏まえた災害時応急体制の充実・強化
- ◎市民一人ひとりの防災意識の醸成
- ◎震災の記録や資料の保存・活用と防災教育の推進

**4. 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見



1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化															
施策名	4-(2) 水・エネルギー対策の充実															
施策の概要	<p>目指す姿 水、エネルギー等のライフラインの強化のほか、省エネルギー対策の充実、再生可能エネルギーの導入促進により、災害に強いエネルギーの供給体制が構築されている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価 【設問】LNG（液化天然ガス）の普及や再生可能エネルギーの導入により、災害に強いエネルギー供給体制の構築が図られている。 【点数】H29：2.6 H30：2.8 H30：2.7</p> <p>施策の工程</p> <p>参考指標の動向</p> <p>○市公共施設への太陽光発電システム導入件数(施設数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>震災前</th> <th colspan="2">震災後</th> </tr> <tr> <th>～H22年度</th> <th>H23～26年度</th> <th>H27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>5施設</td> <td>16施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>導入施設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・根岸公民館</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・湊公民館</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多賀小学校</li> <li>・田面木小学校</li> <li>・大館中学校</li> <li>・豊崎中学校</li> <li>・是川中学校</li> <li>・上長公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・東公民館</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		震災前	震災後		～H22年度	H23～26年度	H27年度	施設数	5施設	16施設	8施設	導入施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・根岸公民館</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・湊公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多賀小学校</li> <li>・田面木小学校</li> <li>・大館中学校</li> <li>・豊崎中学校</li> <li>・是川中学校</li> <li>・上長公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・東公民館</li> </ul>
	震災前		震災後													
	～H22年度	H23～26年度	H27年度													
施設数	5施設	16施設	8施設													
導入施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・根岸公民館</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・湊公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多賀小学校</li> <li>・田面木小学校</li> <li>・大館中学校</li> <li>・豊崎中学校</li> <li>・是川中学校</li> <li>・上長公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・東公民館</li> </ul>													

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

①ライフラインの復旧・整備

No.01	上水道、電気、ガス、通信、工業用水道の復旧	H23 完了
No.02	石油燃料の供給回復	H23 完了
No.03	石油燃料の優先供給に関する協定の締結	H23 完了
No.04	ガスタービン発電設備の新設	H27 完了

②LNG 輸入基地計画の推進

No.05	◆★エネルギーシステム転換の支援	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 2,000 千円 R01 予算 10,278 千円
【事業概要】	環境負荷低減のためのエネルギーシステムの転換に要する費用への補助及びLNG等の利用促進のための普及啓発	【実施状況】	【今後の予定】	
		◎エネルギーシステム転換支援補助金 <対 象> エネルギーシステムの転換に要する機械装置の整備等 <補助額> 補助対象経費の 1/6 又は 2,000 千円のいずれか低い額（補助対象経費 1 億円以上の場合は 10,000 千円） <交 付> 1 社 2,000 千円	◎エネルギーシステム転換支援補助金の継続 ◎次世代エネルギー関連企業との接触 有識者の招聘や意見交換、関連企業への訪問などによる情報収集及び立地環境の PR	
No.06	◆★LNG輸入基地計画の推進	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 39 千円 R01 予算 1,115 千円
【事業概要】	LNG 輸入基地立地計画の推進及び平成 27 年 4 月の LNG 輸入基地運転開始に対応した基盤整備等	【実施状況】	【今後の予定】	
		H22.1 八戸 LNG 基地の立地協定の締結 新日本石油(株) (現: J X エルエヌジーサービス(株)) 青森県及び八戸市 H27.4 八戸 LNG ターミナル運転開始 ◎H30 年度取組内容 ① LNG 関連企業の訪問 ②利用拡大、新たな用途創出に向けた情報収集（定例勉強会参加、県担当部局との連携）	◎ LNG 関連企業の訪問 ◎ LNG 利活用セミナーの開催 ◎利用拡大、新たな用途創出に向けた情報収集（定例勉強会参加、県担当部局との連携）	

③節電・省エネルギー対策の推進

No.07	節電・省エネルギーの推進	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 49,884 千円 R01 予算 810 千円
<p><b>【事業概要】</b> 震災後の電力不足に係る節電・省エネルギーの推進</p>	<p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○H30 年度の市の電力使用量 「うみねこプラン」の基準年度（H25 年度）と比較して 4.44%増加</li> <li>○省エネルギーセミナーの開催（市民対象） H30.7 月（2 日）（延べ 358 名参加） H31.2 月（1 日）（58 名参加）</li> <li>○事業所に対する省エネ等の普及啓発 商工ニュースへの啓発チラシ折込配送（4,200 枚）</li> <li>○国民運動「COOL CHOICE」普及のための啓発活動（市民対象） <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等への出前講座 H30.10 月 15 ヶ所（延べ 202 名参加）</li> <li>・エコドライブ講座 H31.2.22（20 名参加）</li> <li>・他イベントのブース出展 南郷産業まつり 来場者 264 名</li> </ul> </li> <li>○地球温暖化防止コミュニケーター資格の取得 市職員 1 名</li> <li>○庁舎別館照明設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・別館の照明器具を高効率照明へ改修</li> <li>・別館トイレ照明に自動点灯制御導入</li> </ul> </li> <li>○LED 照明器具購入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・別館照明器具の安定器不良箇所について、高効率照明へ改修</li> </ul> </li> <li>○市民広場外灯改修修繕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民広場の外灯を高効率照明へ改修</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電力不足が懸念される場合は、必要に応じて節電の取組を継続</li> <li>○省エネルギーセミナーの開催</li> <li>○事業所に対する省エネ等の普及啓発（商工ニュースへの啓発チラシ折込配送）</li> <li>○国民運動「COOL CHOICE」普及のための講演会</li> <li>○市職員の地球温暖化防止コミュニケーター資格の取得</li> <li>○庁舎照明設備改修工事</li> <li>○LED 照明器具購入</li> </ul>		
No.08	★新うみねこプランの推進	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 0 千円 R01 予算 34 千円
<p><b>【事業概要】</b> 市内から排出される二酸化炭素の削減計画策定及び進捗管理を行い、地球温暖化対策を推進するため節電・省エネルギー対策を実施</p>	<p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「新うみねこプラン」に基づいた二酸化炭素削減に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・うみねこプラン及び環境マネジメントの推進</li> <li>・市民、事業者の取組促進 環境展・環境学習会の開催 「広報はちのへ」による温暖化防止等の周知 商工ニュースへの啓発チラシの折込</li> </ul> </li> <li>②H28 年度の二酸化炭素排出量の算定</li> <li>③市ホームページへの二酸化炭素排出量の公表</li> </ul>	<p><b>【今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続実施（①～③）</li> <li>・計画の改定について検討</li> </ul>		

No.09	環境教育の充実	<事業主体> 市・高等教育機関	事業費	H30 決算 2,934 千円	
				R01 予算 2,879 千円	
<b>【事業概要】</b> 小学校児童及び地域住民を対象とした、家庭でできる省エネ活動などに関する環境学習会の開催等及び高等教育機関による環境教育の支援	<b>【実施状況】</b> ◎屋内環境学習会 <内容> 講師1名(職員)と補助員(職員及び有償ボランティア)数名が学校に出向き学習会を開催 <実績> 小学校13回(延べ参加児童数531人) ◎屋外環境学習会 <内容> 川や田んぼなどで体験型学習会の実施 <実績> 小学校15回(延べ参加児童数754人) ※環境学習会補助員(ボランティア)登録数17人 ◎せせらぎウォッチング H30.6.22(調査) H30.6.29(報告会) ◎エコツアー 3回(6月、8月、10月) ◎環境講話(高校以上) 3回	<b>【今後の予定】</b> 事業継続実施			
No.10	災害時における公共交通の安定供給に関する検討(再掲)	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H30 決算 0 千円	
				R01 予算 0 千円	
<b>【事業概要】</b> バス等交通事業者、警察、国、県などの関係機関との連携による災害時を見据えた公共交通対策の検討	<b>【実施状況】</b> 「災害時公共交通対策検討分科会」の設置(H24.5)(バス事業者、タクシー事業者、鉄道事業者、道路管理者、警察、学識経験者、一般市民等により構成) H24.5~H25.3 災害時公共交通対策検討分科会開催(10回) H24.5~H25.3 地域公共交通会議開催(4回) ・「八戸市災害時公共交通行動指針」策定(H25.3) ・八戸市地域防災計画の修正(H26.1)に合わせ、改訂後の同計画に行動指針の内容を反映	<b>【今後の予定】</b> ・策定した行動指針に基づき、各事業者が大規模災害に備える。			
No.11	災害に強いまちづくり事業(電気自動車等購入費)	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 0 千円	
				R01 予算 0 千円	
<b>【事業概要】</b> 災害時における燃料不足の際、人、物資の運搬等非常時の機動力・情報収集力を確保するため、災害対策本部が設置される市役所を中心に急速充電器を設置するとともに電気自動車を購入	<b>【実施状況】</b> H24年度 公用車として電気自動車2台導入、市庁舎に急速充電器1台設置 H25年度 国・県の事業を活用した充電器設置を促進するため、市施設所管課へ国・県の補助制度を紹介 H26年度 青森県の補助制度の利用状況等に関する情報収集 H27年度~ 次世代自動車充電インフラ整備促進事業等の情報を収集し、市施設所管課へ提供	<b>【今後の予定】</b> 公用車のエコカー導入促進について検討			

④エネルギー供給体制の構築

No.12	メガソーラー発電所の建設	H23 完了
-------	--------------	--------

No.13	◆★住宅用太陽光発電システム導入の支援	H24 完了
-------	---------------------	--------

No.14	◆グリーンニューディール基金事業	H23 完了
-------	------------------	--------

No.15	◆★再生可能エネルギーの導入促進	H27 完了
-------	------------------	--------

No.16	◆畜産バイオマス利用による発電等の事業化の促進(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】			
家畜排せつ物の焼却処理に伴う燃焼エネルギーを利用した発電、焼却灰の肥料利用を目的とした民間事業者による施設整備を側面から支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が行った畜産バイオマス発電の事業化可能性調査 (H25-28 農林水産省補助を活用) にオブザーバーとして参画。</li> <li>・H29.3 調査報告とりまとめ (技術面や採算面等における諸課題を整理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の動向を注視しながら、必要に応じて事業化に向けた助言等を実施 (現時点で具体的な事業化の動きなし)</li> </ul>			

No.17	◆木質バイオマス利活用の可能性の検討(再掲)	H29 完了
-------	------------------------	--------

No.18	木質ペレット利活用推進事業(再掲)	H28 完了
-------	-------------------	--------

3. 施策を取り巻く課題や論点

- ◎未利用エネルギーの活用等による地域全体でのエネルギー利用の効率化
- ◎再生可能エネルギーの普及拡大

4. 復興計画推進市民委員会意見

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化																																																													
施策名	4-(3) 災害に強い地域づくり																																																													
施策の概要	文化・スポーツ・ボランティア	<p>〔目指す姿〕 ボランティア活動や地域づくり活動などにより復旧・復興が促進されるとともに、文化・スポーツの振興や各種イベントを通じて、復興に向けた全市的な気運の醸成が図られている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価</p> <p>【設問】特色ある伝統文化や地域資源を生かして、市民の文化芸術活動やアートプロジェクトが盛んになっている。 【点数】 H29 : 2.6 H30 : 2.8 H31 : 2.8</p> <p>【設問】地元スポーツチームや競技団体、大学等との連携により、市民がスポーツに親しむ環境が整っている。 【点数】 H29 : 2.6 H30 : 2.8 H31 : 2.8</p> <p>【設問】町内会・自治会への加入が促進され、防犯・防災・環境美化等の地域活動が活発に行われている。 【点数】 H29 : 2.3 H30 : 2.5 H31 : 2.5</p>																																																												
	広域連携	<p>〔目指す姿〕 これまで培ってきた広域連携の実績を生かし、八戸圏域内外との連携強化により、当市並びにゆかりのある市町村の創造的復興が推進されている。</p> <p>市民アンケートにおける現状評価</p> <p>【設問】医療・防災・観光・文化・スポーツなどの分野において、広域にわたる自治体や住民の連携・交流が盛んになっている。 【点数】 H29 : 2.5 H30 : 2.6 H31 : 2.6</p>																																																												
<p>施策の工程</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">復旧期</th> <th colspan="4">再生期</th> <th colspan="4">創造期</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> <tr> <td colspan="10">①ボランティア活動の促進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">②災害に強い地域づくり活動の促進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">③文化・スポーツの推進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">④地域連携による復旧・復興</td> </tr> </table>			復旧期		再生期				創造期				H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	①ボランティア活動の促進										②災害に強い地域づくり活動の促進										③文化・スポーツの推進										④地域連携による復旧・復興									
復旧期		再生期				創造期																																																								
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																					
①ボランティア活動の促進																																																														
②災害に強い地域づくり活動の促進																																																														
③文化・スポーツの推進																																																														
④地域連携による復旧・復興																																																														
<p>参考指標の動向</p> <p>○自主防災組織の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>震災前</th> <th colspan="8">震災後</th> </tr> <tr> <th>H23.2月末</th> <th>H24.3月末</th> <th>H25.5月末</th> <th>H26.7月末</th> <th>H27.5月末</th> <th>H28.5月末</th> <th>H29.5月末</th> <th>H30.5月末</th> <th>H31.4月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織数 (女性消防クラブ含む)</td> <td>71団体</td> <td>76団体</td> <td>84団体</td> <td>81団体</td> <td>84団体</td> <td>77団体</td> <td>81団体</td> <td>83団体</td> <td>83団体</td> </tr> <tr> <td>対象世帯数</td> <td>66,899世帯</td> <td>71,885世帯</td> <td>84,006世帯</td> <td>84,810世帯</td> <td>88,509世帯</td> <td>89,269世帯</td> <td>93,602世帯</td> <td>95,728世帯</td> <td>96,005世帯</td> </tr> <tr> <td>組織化率</td> <td>64.9%</td> <td>69.3%</td> <td>79.8%</td> <td>79.9%</td> <td>82.8%</td> <td>83.2%</td> <td>86.7%</td> <td>88.3%</td> <td>88.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※組織化率 全国:83.2%(H30年4月現在)、青森県:54.4%(H31年4月現在)</p>				震災前	震災後								H23.2月末	H24.3月末	H25.5月末	H26.7月末	H27.5月末	H28.5月末	H29.5月末	H30.5月末	H31.4月末	組織数 (女性消防クラブ含む)	71団体	76団体	84団体	81団体	84団体	77団体	81団体	83団体	83団体	対象世帯数	66,899世帯	71,885世帯	84,006世帯	84,810世帯	88,509世帯	89,269世帯	93,602世帯	95,728世帯	96,005世帯	組織化率	64.9%	69.3%	79.8%	79.9%	82.8%	83.2%	86.7%	88.3%	88.3%											
	震災前	震災後																																																												
	H23.2月末	H24.3月末	H25.5月末	H26.7月末	H27.5月末	H28.5月末	H29.5月末	H30.5月末	H31.4月末																																																					
組織数 (女性消防クラブ含む)	71団体	76団体	84団体	81団体	84団体	77団体	81団体	83団体	83団体																																																					
対象世帯数	66,899世帯	71,885世帯	84,006世帯	84,810世帯	88,509世帯	89,269世帯	93,602世帯	95,728世帯	96,005世帯																																																					
組織化率	64.9%	69.3%	79.8%	79.9%	82.8%	83.2%	86.7%	88.3%	88.3%																																																					

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）

① ボランティア活動の促進

No.01	◆災害ボランティアセンターの運営内容の充実	<事業主体> 市・社会福祉協議会	事業費	H30 決算	32 千円
				R01 予算	275 千円
【事業概要】 東日本大震災をふまえた八戸市災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備やボランティアコーディネーターの育成	【実施状況】 ① 災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議の開催 (H30.7.30、H31.3.12) ② 八戸市防総合防災訓練への参加 (H30.8.31) ③ 青森県防災ボランティアコーディネーター連携研修会への参加 (H31.2.19) ④ 災害ボランティアセンターの運営 ・災害ボランティアセンター受付マニュアルの一部見直し・改訂 (H31.3) ⑤ 災害ボランティアの意識啓発事業 ・防災ボランティアコーディネーター育成に向けた研修会の検討 ・災害ボランティア展の開催 (H31.1.15～1.21) ⑥ 災害ボランティアに係る視察 (H31.2.9)	【今後の予定】 事業継続実施 ・災害ボランティア入門講座の開催 (R1.7.10) ・災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議の開催 ・八戸市総合防災訓練への参加 (R1.9.1)			
No.02	◆自主的な災害ボランティア活動の実践	<事業主体> 高等教育機関	事業費	H30 決算	0 千円
				R01 予算	0 千円
【事業概要】 市民や企業・各種団体等の自主的なボランティア活動による被災者支援及び地元大学等による災害ボランティア活動の実施	【実施状況】 ◎チーム北リアス (H23.5 発足) 実施主体 チームオール弘前、八戸工業高等専門学校 ほか 活動場所 野田村 活動内容 被災者支援・学習支援ボランティア、復興まちづくり勉強会への参加等	【今後の予定】 事業継続実施			

② 災害に強い地域づくり活動の促進

No.03	◆★災害時要援護者支援事業の推進(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H30 決算	1,166 千円
				R01 予算	1,258 千円
【事業概要】 重度の障がい者や要介護度の高い人などの要援護者に対する災害時における支援体制の整備・推進	【実施状況】 ①災害時要援護者名簿の更新・地域支援者への提供 ・統合型 GIS と連動した新マップシステムの運用 ・民生委員や自主防災会等への名簿提供(年2回) ②要援護者支援に関する自主防災会等との協定締結 ③広報誌等による制度周知、協定締結の呼び掛け ④救急医療情報キットの配布(高齢福祉課との連携) ⑤民生委員を通じ、災害時要援護者名簿情報の更新  ※災害時要援護者登録者数 H30.3.31 現在 4,142 人 (うちひとり暮らし高齢者 1,320 人) H31.3.31 現在 3,885 人 (うちひとり暮らし高齢者 1,774 人)	【今後の予定】 事業継続実施			



No.04	◆★災害に強い地域コミュニティづくりの推進(再掲)	H27 完了
-------	---------------------------	--------

No.05	◆★自主防災組織の結成促進や活動支援・リーダー育成	＜事業主体＞ 市・民	事業費	H30 決算 3,302 千円	R01 予算 10,420 千円
<p><b>【事業概要】</b></p> <p>自主防災組織の結成・活動・リーダー育成に対する支援</p>	<p><b>【実施状況】</b></p> <p>◎自主防災組織の設立状況 (H31. 3. 31 現在)</p> <p>＜組織数＞ 84 団体 (95,742 世帯)</p> <p>＜組織率＞ 88.3% (95,742 世帯/108,405 世帯)</p> <p>※全 国 83.2% (H30.4 現在)</p> <p>青森県 53.0% (H30.4 現在)</p> <p>＜設立団体数＞ H23 年度 7 団体 H24 年度 7 団体 H25 年度 3 団体 H26 年度 4 団体 H27 年度 4 団体 H28 年度 2 団体 H29 年度 6 団体 H30 年度 2 団体</p> <p>◎自主防災組織リーダー研修会 H31. 3. 2 開催 (受講者 100 名)</p> <p>◎自主防災組織育成事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の資機材整備に要する経費へ助成</li> <li>・交付金額 1,349 千円(1 団体)</li> </ul> <p>◎自主防災組織活動支援助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織が実施する防災訓練等に要する経費を助成 (1 団体・年度 1 回 50,000 円)</li> <li>・交付金額 1,698 千円 (36 団体)</li> </ul> <p>◎自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会、研修会への講師派遣</p> <p>H24 年度:17 回 H25 年度:27 回 H26 年度:12 回 H27 年度:17 回 H28 年度:14 回 H29 年度:34 回 H30 年度:37 回</p> <p>◎八戸市自主防災会連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会 (H30. 5. 18)</li> <li>・総 会 (H30. 9. 28)</li> </ul> <p>◎自主防災組織設立を検討している団体への手続き方法等の説明</p> <p>◎未設立地域の町内会等への働き掛け</p>				<p><b>【今後の予定】</b></p> <p>事業継続実施</p>

No.06	◆海を生かした地域づくり活動の促進	H27 完了
-------	-------------------	--------

③文化・スポーツの推進

No.07	◆復興をテーマとするフォーラム・シンポジウムの開催	<事業主体> 県・市・高等教育機関等	事業費	H30 決算 11 千円 R01 予算 67 千円
【事業概要】 「東日本大震災復興フォーラム」、 「八戸ふるさと交流フォーラム」等の開催	【実施状況】 ◎フォーラム等（主なもの） ・東北4県・東日本大震災復興フォーラム(H31.2.10) （主催：青森・岩手・宮城・福島県、実行委員会） ・平成最後の防災フォーラム(H31.3.9) （主催：八戸コミュニティボード） ・3.11 防災フォーラム(H31.3.11) （主催：八戸工業大学、八戸市）  ◎復興状況市民見学会（5回開催・合計46名参加） ・親子対象：H30.7.28、H30.8.11 ・一般対象：H30.9.22、H30.9.30、H30.10.20	【今後の予定】 事業継続実施		
No.08	◆★復興を支援する芸術文化事業の実施	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 700 千円 R01 予算 700 千円
【事業概要】 「湊橋八戸小唄まつり」等、復興を支援する芸術文化事業の実施	【実施状況】 ◎八戸小唄まつり補助金 「八戸小唄」の普及や伝承が期待できる事業実施団体に対し、事業実施に要する経費の一部を補助 H30 年度補助実績 ・湊橋八戸小唄まつり実行委員会（500千円） （第8回湊橋八戸小唄まつり） ・さめ浜まつり実行委員会（200千円） （第19回さめ浜まつり）	【今後の予定】 事業継続実施		
No.09	◆★アートのまちづくりの推進	<事業主体> 市・民	事業費	H30 決算 38,417 千円 R01 予算 12,260 千円
【事業概要】 「南郷アートプロジェクト」等、「アート」を切り口に、地域課題の解決や、まちの活力創出につながる事業の実施	【実施状況】 ◎南郷アートプロジェクト 「なんごう小さな芸術祭」の実施 ・地域の歴史や自然などの風土に出会える演劇や舞踏の公演及び展示等 ・バスツアーやワークショップ等の体験プログラム ・東北内で文化芸術事業を牽引する方を招いてのトークイベント  ◎八戸工場大学 ・オープンキャンパス 1回 ・講義（工場に関連した講座等） 3回 ・課外活動（工場見学） 3回 ・サークル活動（アートプロジェクト） 「さよなら、ぼくらの大煙突」 ※東北電力八戸火力発電所協働実施	【今後の予定】 ◎南郷アートプロジェクト ・地域資源や人を巻き込んだコミュニティプロジェクト（島守地域でのダンス映画製作）  ◎八戸工場大学 講義（オープンキャンパス含む）、課外活動、サークル活動		

No.10	◆★文化財の保存・活用	<事業主体> 関係 4 道県・関係市町	事業費 H30 決算 1,797 千円 R01 予算 3,396 千円
<b>【事業概要】</b> 史跡、天然記念物、民俗文化財、国・県・市指定文化財等の適切な保存・管理及び積極的な活用及び是川遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	<b>【実施状況】</b> ①文化財の管理・活用 ・国重要無形民俗文化財「八戸のえんぶり」の詳細調査、映像等記録作成に係る事前調査・協議 ・国重要無形民俗文化財の八戸三社大祭に曳き出される山車人形「太公望・武田信玄」の衣裝修理に係る事前調査・協議 ・南郷地区の旧跡である蛇口伴蔵の既存標柱の撤去、新設 ・鮫・湊地区の既存説明板の撤去、更新 ②世界遺産登録推進 ・世界遺産縄文遺跡群フォーラム（青森市、盛岡市）	<b>【今後の予定】</b> ①文化財の管理・活用 ・国指定「八戸のえんぶり」の調査・記録作成 ・国指定「八戸三社大祭の山車行事」に曳き出される山車人形の修復に係る文化庁・県調整および事業主体者（八戸三社大祭山車祭り行事保存会）への補助金交付 ②世界遺産登録推進 ・世界遺産登録に係るイコモス現地調査への対応	
No.11	◆★是川縄文の里の整備	<事業主体> 市	事業費 H30 決算 83,276 千円 R01 予算 86,182 千円
<b>【事業概要】</b> 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の運営及び是川遺跡の復元、縄文の森の整備等	<b>【実施状況】</b> ◎是川縄文の里整備 ・史跡是川遺跡の用地買上げ 9 筆 20,308 m <sup>2</sup> ・史跡草刈り等委託 92,400 m <sup>2</sup> 2 回～4 回 ・世界遺産登録推進に向けた諸会議出席、周知活動の負担金 ・史跡是川石器時代遺跡ポスター制作・配布 ・整備検討委員会の開催、第 1 期整備基本設計の作成 ◎是川縄文館の運営 ・春季企画展、夏季特別展、秋季企画展の開催 ・考古学講座、サポートスタッフ研修会、これかわ考古学クラブ、縄文体験講座・教室等の開催 ・遺跡調査報告会の開催 ・共同研究の実施（是川縄文館・弘前大学） ・刊行物の発行（企画展図録、研究紀要、年報、埋蔵文化財ニュース） ・路線バスの乗り入れ	<b>【今後の予定】</b> ◎是川縄文の里整備 ・史跡是川遺跡の用地買上げ ・史跡草刈り等委託 ・世界遺産登録推進に向けた諸会議出席、周知活動の負担金 ・整備検討委員会の開催 ・既存施設（管理棟・サブ倉庫）除去工事 ◎是川縄文館の運営 ・企画展、特別展の開催 ・考古学講座等、各種講座の開催 ・遺跡調査報告会の開催 ・共同研究の実施 ・刊行物の発行 ・路線バスの乗り入れ	

No.12	◆★八戸スポーツ振興協議会の活動促進	<事業主体> その他	事業費	H30 決算 7,621 千円 R01 予算 7,240 千円
【事業概要】 アイスホッケーやサッカー等、当市に活動拠点のあるスポーツチームの支援による地域スポーツの振興	【実施状況】 ①支援対象チームであるヴァンラーレ八戸の運営会社に委託し、アウェイ戦で、八戸市を紹介する観光PR冊子を配布 ②八戸市民キッズデー開催時の入場料負担 ③市営バスを活用した広告（モニター広告） ④ヴァンラーレ八戸の試合会場に市のPR広告（ピッチボード）を掲出 ⑤地元フリーペーパーへの広告掲載、中心街等へのバナーフラッグ掲出、チームイベントの支援、シャトルバスの運行等を実施している八戸スポーツ振興協議会に負担金を支出	【今後の予定】 ・八戸 DIME の加入検討 ・広告掲載等、事業内容を見直しながら継続		
No.13	◆八戸市体育館の改築の検討 <b>完了</b>	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 203 千円 R01 予算 0 千円
【事業概要】 防災拠点機能も有する、八戸市体育館の改築または耐震化工事の検討	【実施状況】 ◎八戸市体育施設整備検討委員会の開催 H28年度 第1回 H29年度 第2回～第4回 H30年度 第5回 (H30. 7. 13)、第6回 (H30. 10. 10) 第7回 (H30. 12. 12)、第8回 (H31. 1. 30) 意見書提出 (H31. 2. 22)  ◎八戸市体育施設整備に関する基本方針の策定 (H31. 3. 29)	【今後の予定】 ・市内全体の体育施設について長寿命化計画を策定するとともに八戸市体育館の建て替えに向けた基本構想の内容や進め方について検討		

No.14	◆多賀多目的運動場の整備	<b>H28 完了</b>
-------	--------------	---------------

No.15	◆★屋内スケート場の建設	<事業主体> 市	事業費	H30 決算 5,096,608 千円 R01 予算 4,544,792 千円
【事業概要】 中心市街地に位置する長根公園内に、国内3番目となるスピードスケートの国際大会が可能な屋内スケート場の整備	【実施状況】 H26年度 事業開始 H28年度 建築工事着工 (H28. 9)  H30年度 ・本体工事 (建築・電気・機械) ・外構工事 ・NTC (ナショナルトレーニングセンター) に対応するトレーニング機器等の備品整備	【今後の予定】 ・本体工事 (建築・電気・機械) ・外構工事 ・場内設備整備 (中地用防球ネット、無線 LAN) ・備品整備 (NTC に対応するトレーニング機器、製氷車等)		

④地域連携による復旧・復興

No.16	北奥羽・三陸沿岸都市への支援物資の援助	H23 完了
-------	---------------------	--------

No.17	被災地への市民病院医師等派遣	H23 完了
-------	----------------	--------

No.18	被災地への応急給水支援等	H23 完了
-------	--------------	--------

No.19	緊急消防援助隊の派遣による支援	H23 完了
-------	-----------------	--------

No.20	県外避難者の受入	<事業主体> 県・市	事業費	H30 決算 R01 予算	0 千円 0 千円
<b>【事業概要】</b> 県外からの避難者の当市への受入	<b>【実施状況】</b> 県等と連携した避難者支援を継続 ・ 県外避難者名簿の更新（毎月）  ◎ 県外避難者の状況（H31. 3. 31 現在） ・ 避難者数・世帯数 岩手県    10 人（ 4 世帯） 宮城県    20 人（ 8 世帯） 福島県    82 人（31 世帯） 計    112 人（43 世帯） ・ 居住先住宅種別 親戚宅・アパート等    94 人（35 世帯） 公営住宅                11 人（ 5 世帯） 青森県借上げ住宅      7 人（ 3 世帯） 計    112 人（43 世帯）	<b>【今後の予定】</b> 事業継続実施			

No.21	東日本大震災被災者招聘事業	H23 完了
-------	---------------	--------

No.22	三圏域等の災害時応援協定の検証	H23 完了
-------	-----------------	--------

**3. 施策を取り巻く課題や論点**

- ◎安全・安心に向けた地域のつながりの強化
- ◎市民と行政の協働のまちづくりの推進
- ◎当市の特色ある学術・文化・スポーツの促進によるまちの活力の創出
- ◎復興に向けた新たな広域連携の創造

**4. 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見